

まちづくり懇談会特別企画 若者・子育て世代編

日産工機労働組合との懇談

～町内事業所と町が協働する、住みよいまちづくり～

1. 懇談会のテーマ

「町内事業所と町が協働する、住みよいまちづくり」

- ・事業所として/町民として思う寒川の良いところ・課題に思うこと
- ・住みよい町にするために、事業所と町が協働(協力)して実現できること

2. 日時・会場

令和4年10月18日(火) 午後5時50分～7時50分
日産工機労働組合会議室

3. 参加人数 11人

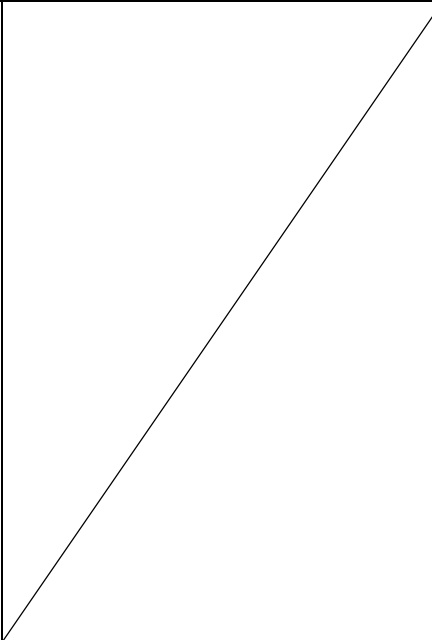
4. 町出席者

木村町長 畑村副町長、戸村町民部長、岡野町民協働課長
町民協働課協働推進担当職員(4人)

【町内事業所と町が協働する、住みよいまちづくり】

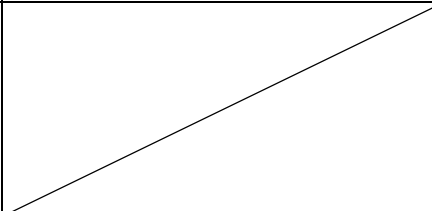
参加者	町長	懇談後の経過 結果等確認事項
<p>(町民部長)</p> <p>早速ですが、【町内事業所と町が協働する、住みよいまちづくり】について、「事業所として/町民として思う寒川の良いところ・課題に思うこと」と「住みよい町にするために、事業所と町が協働（協力）して実現できること」をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>		
<p>【人口減少について】</p> <p>この先さらなる人口減少が見込まれることは、町として問題点かと思ひます。一方、町の魅力として、高速道路（圏央道）のインターチェンジができ、便利になっていると感じています。また、町内には3つの駅もあります。</p>	<p>相模線の時刻表に空白の時間帯があった頃と比べると、1時間に4本はすごい頻度だと思ひます。しかし、転入者からは、相模線の本数の増加や複線化の要望が挙がっています。この状況も踏まえ、現在 JR 東日本に要望を出しています。</p>	
<p>【鉄道関係について】</p> <p>新幹線の新駅を倉見地域へ誘致する話が出ていましたが、進捗具合や今後の展望について教えてください。</p> <p>町に新幹線の駅が出来れば、非常に便利で利用者が増え、都内へも通勤圏内となり、居住者増加へ繋がるのではないかと思ひます。</p>	<p>東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会は、神奈川県を中心に沿線の9市1町、計10市町が連携し、活動しています。倉見への新幹線の新駅設置について、毎年 JR 東海品川本社に要望活動をしております。</p> <p>議論を進めていく中で、具体的なものに一步でも近づけようとしています。</p>	<p>○倉見拠点づくり課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉見拠点づくり担当 <p>JR 東海より「現在は新駅設置の可否判断の段階ではないが新駅周辺のまちづくりの検討にあたり助言等を求められれば協力していく」という前向きな回答をいただいていることから、現在は担当レベルでの技術相談に応じていただいております。</p>
<p>【交通網について】</p> <p>以前、寒川町に住んでいました。静かで、お食事処もあり、とても住みやすいと思ひますが、交通の便があまり良くないと感じます。</p>	<p>相鉄いずみ野線延伸工事が計画されており、いずれは湘南台から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスまで線が伸びていく見込みです。その先、当町の倉見という地名が国の中で明示されております。時間はかかるかと思ひますが、これに加えて、県道45号丸子中山茅ヶ崎線</p>	<p>○都市計画課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画・開発指導担当 <p>町ではコミュニティバスの運行や路線バスへの補助などを行い、住民の生活圏における移動手段の確保に取り組むと共に、更なる利便性向上に向け交通計画の策定を進めております。引き続き町域における公共交通の充実に努めてま</p>

	<p>から倉見までの延伸の計画があります。土地利用の有効性をより高めていかなければと考えておりますので、順次課題を解決し、整備を進めながらより住みやすい環境づくりに努めていきたいと思っております。</p>	<p>います。</p>
<p>【子育て支援について】 幼稚園の無償化や何人目以降の副食代の無償化など、子育てに関する支援が全国的に手厚くなっていると感じます。町の魅力として、どこかで差別化し、アピールをしなければいけないかと思いますが、何かお考えはありますか。</p>	<p>湘南エリアで子育てナンバーワンを目指すという目標を掲げました。このためには、他自治体にはない支援策が必要になってきます。これまでに、放課後児童の居場所づくりや保育園の待機児童問題、学校の少人数学級に取り組んでおります。また、他自治体では、一定期間、給食費を無料にする事例もありますが、町は持続可能な支援として、物価高騰分を給食費へ転嫁しない方向性で考えています。</p> <p>令和5年の2学期を目指し、小学校・中学校ともに完全給食とするため、学校給食センターを整備中です。現在、小学校では完全給食を提供、中学校では牛乳のみを提供し、お弁当を持参してもらっています。材料費の高騰もありますが、子ども達へ食育の大事さを伝えるため、対応を進めております。</p> <p>医療費に関する課題もあります。現在、中学3年生まで所得制限なしで無料化を行っておりますが、全国的に見ると、高校生までの無料化が一つの流れになっています。医療費の</p>	

	<p>無料化は国がやるべきではないかと考えています。令和5年度には、国が子ども家庭庁を設置し、子どもに対する支援策を明言しています。これは、家庭を含めた子育てや成長過程にある子ども達のための国の省庁です。今、町としてできることは近隣自治体の状況を見ながら、最善の対応策を講じなければいけないと考えております。</p>	
<p>【移住希望調査について】</p> <p>町は寒川神社に多くの参拝客がいることやテレビ等で紹介されていることから、認知度はあると思います。しかし、人が住まないというのには何か理由があるのでしょうか。何か調査されたことはありますか。</p>	<p>町内に移り住んでもらう、定住してもらうには環境づくりが必要だと考えています。町も情報発信をしていますが、皆さんの心に響き、移り住もうという行動にはなかなか繋がりません。町の広報戦略課から様々なプロモーションをしていますが、いかに相手に伝えるかが重要だと思います。神奈川新聞等の地方紙やテレビ神奈川等のテレビなど、様々な部分で情報発信をしていきたいと思っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が地域のイベント等の情報を出す上で、障害になっていた部分があります。情報の出し方やタイミング、皆さんがどのような情報を求めているのかを内部で検討しながら、また、ご意見もいただきながら進めていきたいと思っています。</p>	<p>○企画政策課</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画マーケティング担当 <p>令和3年度では、転出者1,720人に対し、転入者2,098人で、転入出では378人が増加している状況です。</p> <p>令和2年度に実施した町民へのアンケートでは、「寒川町にこれからも住み続けたいと思いますか。」に対し、「住み続けたい」が85.6%、「転出する・転出したい」が13.9%でした。「転出したい理由」としては、20代は「仕事」、30代前半は「仕事」「居住環境」、30代後半から40代前半は「子育て」、40代後半は「居住環境」が最も多い結果でした。</p> <p>○広報戦略課</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報プロモーション担当 <p>町では、ブランディング開始以降の平成30年度から転入者は毎年2,000人を超え、</p>

		<p>総人口も毎年100人前後で増加している状況です。</p> <p>また、年間を通じ転入者窓口アンケートを行い、移住者の目的や理由等を把握し効果的な施策展開やプロモーションの研究に努めているところです。</p>
<p>【夜間の道路について】</p> <p>倉見の目久尻川方面へ行くほど居住区は増えていきますが、そちらに行けば行くほど、夜道が暗くなっていきます。特に、夜間はバスが通っておらず、自転車か徒歩、または車で迎えに行くかなど、不便に感じます。</p>	<p>町には、町内の小学6年生の児童が議員となる、子ども議会があります。この子ども議会の共通テーマとして多く挙がるのがにぎわいと夜道、夜の暗さです。夜、帰りが遅くなった際に、もう少し明るさが欲しいという不安を感じる声が届いております。街並みを明るくすることは行政の役割だと思っています。現在、防犯灯は全てLEDを使用していますが、明るさが足りないことや防犯灯の間隔が広いことが考えられるため、間隔を狭めることも必要かと思っています。</p> <p>駅前や商業地から外れると急に暗くなってしまいます。子ども達や一般の方の通行が多い箇所を重点的に先行して明るくする。そして、段階的に広げていきます。</p> <p>(町民部長)</p> <p>目久尻川沿いにあるリサイクルセンター周辺は、夜間に電灯を点けてしまうと生物体系に障害が出るため規制が設けられています。明るく出来る場所と出来ない場所があること</p>	<p>○企画政策課</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画マーケティング担当 <p>町では、夜道を明るくし、安心して歩けるまちを目指して「こころ。を灯す」取組を実施しています。この取組では、自分と周囲が安心して夜道を移動するために手軽に取り組みする3つのことを町民の皆様に推奨しています。</p> <p>一つ目は夜道を歩く際にすれ違う人とお辞儀であいさつを交わすこと、二つ目はスマートフォンのライトなどを点灯させて歩くこと、三つ目は家の外灯などを一晩つけておくことです。</p> <p>地域の皆さまと協力しながら、夜道を明るく安心して歩けるまちを目指してまいります。</p> <p>○町民安全課</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯・交通安全担当 <p>防犯灯の設置については、各自治会より設置の要望を挙げていただき、現地を確認して、設置することが可能か判断し、可能であれば、設置</p>

	<p>をご理解いただければと思います。</p>	<p>しています。 もし、お住まいの近くで夜道が暗いと感じましたら、加入自治会の役員の方や町民安全課へご相談ください。</p>
<p>【都心部への交通網について】 湘南台まで相鉄いずみ野線が延伸された場合、便利だと感じますが、湘南台まで行くのに相模線や東海道線、小田急線を使うしかありません。町外に通勤している方も多いと思いますので、交通手段について解消されると大きいと思います。夜間静かで住みやすく、子育てもしやすい場所だと感じますが、子どもが大きくなるにつれ、不便さを感じてしまいます。何か戦略や考えがありましたら、お聞かせいただければと思います。</p>		
<p>【認知度向上について】 認知度向上が町の課題だと思います。町として、どのように認知度を上げていくのか、作戦や戦略等を教えてください。</p>	<p>びっちょり祭や神輿まつり、寒川神社における様々な祭事があります。広域では浜降祭もありますが、コロナ禍のため人が集まること自体が難しい状況があり、各地区で一番苦労している部分だと思います。11月の産業まつりは、このような状況のため規模を縮小して開催を予定し、町外の方に足を運んでいただけることを期待しています。</p> <p>びっちょり祭は水と関係の深い、当町独自のイベントだと思います。本来持っている町の特徴や良さという認識が少し</p>	<p>○企画政策課 ・企画マーケティング担当 町では、町民ニーズや町の課題を把握するために、登録者に定期的に質問するeマーケティングリサーチ、転入者へのアンケート、LINE登録者等への電子アンケートなどを行っています。</p> <p>認知度に関する実情や課題についても、定性的な調査を行い、現状を把握しながら行ってまいります。</p> <p>○広報戦略課 ・広報プロモーション担当</p>

	<p>弱く感じるため、町外の方やマスコミの視点でものを見ることが必要だと思っています。e-マーケティング（町に登録した方へのアンケート調査）などで多くのご意見やご提案をいただいておりますので、工夫し、目立つやり方をまずやってみることが大事だと思っています。</p>	<p>町外プロモーションについては、これまで動画発信やポータルサイトの設置などを中心にプロモーション活動を進めてきたところです。</p> <p>今後は、さらに効果的なプロモーションとするため、これまでの取り組みの分析とその結果を踏まえた展開をしていくとともに、SNSの活用や報道機関とのさらなる協力体制の構築などにより、寒川町の持つ利便性や住みやすさを効果的に発信してまいります。</p>
<p>【電気自動車充電エリア増設について】</p> <p>電気自動車の充電エリアの増設について、町で携わっていることや計画等がありましたら教えていただきたいです。電気自動車はとても魅力的ですが、充電場所が少ないと不安という理由から、買い替えられない人も多いと思います。</p>	<p>走行継続距離等の様々な課題があるかと思いますが、電気ステーションや充電ステーションが数多くあるとどこへ行くにも心配なく利用できると思います。現状、町が管理している充電設備は庁舎内に1箇所のみです。民間での設備もありますが、一般の方が利用する施設に充電設備があるのは良いと思いますし、PRも必要だと思っています。</p> <p>技術の進展により、様々な乗り物の形態が出来ると思いますので、時代に合わせた施設の配置について十分検討していきたいと思っております。</p>	<p>○環境課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全担当 <p>町内の工業協会会員事業所等120社から電気自動車用急速充電器の有無・一般利用可否等について意見を聴取いたしました。</p>
<p>【今ある寒川町の魅力的なもののアピールについて】</p> <p>寒川神社を全国にアピールしきれていない印象がありま</p>	<p>コロナ禍においても参拝客はそれ程減らず、分散参拝を実施しています。神門を入り、境内の本殿前には定点カメラを</p>	

す。ショッピングモールを作っ
て欲しいとの意見もあるかと
思いますが、今ある町の魅力
をもっとアピールできるよう
なまちづくりが出来たらと思
います。

駅から寒川神社まで、遊歩道
のようにずっと繋げることが
出来れば非常に魅力的です。立
派な神社がある所は駅から直
結して、お店がある場所を散策
できるイメージがあります。寒
川神社という立派な神社があ
るので、よりアピールできれば
と思っています。寒川神社を違
う形でアピールするような計
画がありましたら、知りたいで
す。

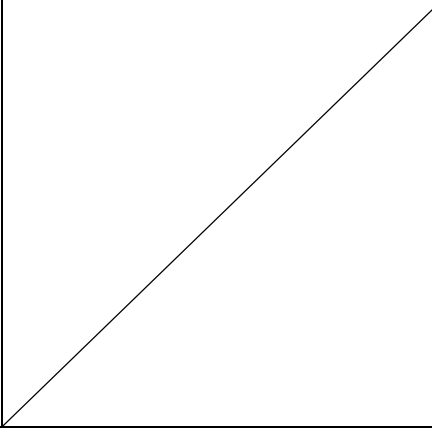
設置し、24時間映像を流して
おります。これにより混雑状況
が分かり、利用者目線の対応
がされています。

寒川神社には年間200万人か
ら220万人の参拝客が見られ
ます。町がどこにあるかは分
からないが、寒川神社はすぐ
に分かると言われるほど全国
的に認知度があります。

社殿を新しく造り変え、参集
殿には結婚式場があり、いず
れは建て替える計画もあり
ます。寒川神社境内地には、
軽食を取るお店やお土産を
売っている場所もあり、充
実しています。

多くの人が集まる神社には
参道のようにお店が並び、
参拝客の利便を高めるまち
づくりや地域ができていま
す。当町でも総合計画の中
に東参道構想がありますが、
参道となりうる地域は、市
街化調整区域であるため、
非常に規制の厳しい農用地
が広がっています。その規
制を上手く活かした中で、
花き類の若い生産者と繋が
れないかという話をしてい
ます。町の賑わいを作りたい
思いもありますが、神社周
辺にお住まいの方のご理
解を求めていきたいと考
えております。

東参道構想は商工会で話題
が出ていますが、その事業
に対して投資する事業主や
事業者は現時点で具体的
に出ていません。

	<p>総合計画の中で、庁舎があるエリアと神社を繋ぐ中間点をにぎわい交流創出ゾーンに指定し、賑わいを創ろうと、皆さんの合意形成が出来ればという段階です。これから一歩でも二歩でも前に進めようと思っております。</p>	
<p>【魅力づくりについて】</p> <p>人口減少や若者不足は日本全国同じ問題を抱えており、地方になると人口流出が多くなると思います。人口流出を止める、人口維持には2つあると思います、一つは町で育った人に定住してもらおう。もう一つは、外部から転入してもらおうことです。若い人は若いからこそ何でも出来ます。若い人と年配の人が融合することで何か生み出せないかと思っています。</p> <p>寒川神社という有名なものがありますが、神社に限らず、祭りや地域に根差した広がりを作ることで、コミュニティの強化になると思います。</p> <p>ショッピングモールやイベントで外部の人を集めるのは良いと思いますが、元々いる人の楽しみに力を入れていった方が良いと思っています。</p> <p>在住者から、昔、相模川で花火大会があり、その頃は屋台も出て賑わっていたと聞きました。コンサートや野外フェスなど新しいイベントも良いですが、元々ある町のお祭りやコミ</p>	<p>地域の繋がりの希薄化は課題だと考えております。</p> <p>一例ですが、当町と姉妹都市の山形県寒河江市は人口約4万人の自治体で、冬になると雪が降り、季節的に他との交流が出来なくなってしまふことから、地域の繋がりを非常に重要視しています。寒河江市では、神輿祭りが盛大に行われます。各神社ではなく、各町内会で大人神輿、子ども神輿があり、お祭り開催時は国道県道を問わず、全てを通行止めに行っているそうです。町の観桜駅伝は規制があるため出来ませんが、県民性や地域性の違いも見ておく必要があると思います。</p> <p>また、高齢者と若者の交流の場を何とか従来の形に戻していきたいと思っています。そのためには、その日限りの短時間なものかもしれませんが、花火大会等のイベント開催が大事だと思います。主催者は大変かと思いますが、それを準備する、あるいは統一の行動が必要だと思います。</p> <p>32年前になりますが、相模川</p>	<p>○町民協働課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働推進担当 <p>自治会やボランティア団体による地域活動のさらなる活性化を支援すると共に、町内外への活動周知を図ってまいります。</p>

<p>ユニティのお祭りなどに力を入れていくと良いと思います。</p> <p>行政だけが頑張るのではなく、町民それぞれが意識を持つことが必要だと思います。人が減ると、税収が減り、町役場職員が減ると、町民へのサービスができなくなってしまうなどの訴えかけがあっても良いと思います。</p>	<p>の河川敷で花火大会を盛大に行いました。その後、町内団体が自ら資金を募り、11月頃に約30分、600から800数の花火を打ち上げる活動をしています。</p> <p>コロナ禍により、現在活動を中断していますが、復活させたいと思っております。</p> <p>浜降祭も3年開催していないと神輿の担ぎ方が分からなくなってしまったり肩が慣れず担げないことがあるそうなので、継続することが大事だと思います。</p> <p>コロナ禍のせいにしたくありませんので、イベントや祭事を復活させたいです。協力者や賛同者が必要ですが、まずは声を出す人がいなければいけません。そのためには、行政が地域の賑わいづくりを進め、一堂に、同じ気持ちで同じ方向を見ることをぜひ復活させたいと思っております。</p>	
<p>【資源廃棄物回収について】</p> <p>資源ごみの回収が月に1回しかないと聞きました。よそでは当たり前に行っていることが出来ていないところがあると聞き、改善や今後何か考えていることはありますか。</p>	<p>住民の皆さんが必要としているものは安全の確保、健康づくり、そして環境対策だと思います。環境対策について、過去ごみの焼却施設がありましたが、現在、家庭から毎日のように出る可燃ごみは茅ヶ崎市で焼却し、焼却後の灰は県外で最終処分しています。町内で出た可燃ごみは自分たちで処理できません。だからこそ、減量化を繰り返しお願いしています。</p> <p>地域課題となっているのは、</p>	<p>○環境課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源廃棄物担当 <p>令和4年2月の1か月間、田端地区で試験運用を行い、その後、アンケートを行いました。今後、地域の状況が異なる別の地区でも試験運用を行い、アンケートを行います。これらの結果を踏まえて、今後の方向性を検討してまいります。</p>

	<p>資源物であり、回収日を月に1回から2回にして欲しいと要望が出ています。事業者とも調整しておりますが、現在、不燃ごみと古紙、衣類布類の資源物を隔週で回収しています。びん、かん、ペットボトルは月に1回の回収です。これを、不燃ごみ回収を1回減らし、資源物回収を増やすのか等、検討中です。</p> <p>田端地区では、1か月間試験的に分別方法や回収数を変えました。今後、地域の状況が異なる別の地区でも試験を行います。この結果を以って、改善に向けた方向性を出していきたいと思っております。</p>	
<p>【さむかわ中央公園遊具増設について】</p> <p>町外に住んでいますが、さむかわ中央公園へ月に1回子どもを連れていきます。土日に行くことが多いのですが、他の子が遊具を使用しており使えず、いつも築山で遊んでいます。遊具を増やすような計画等があれば教えていただきたいです。</p>	<p>さむかわ中央公園には、大きな砂場や幼児対象の遊具、滑り台やブランコ、健康運動器具を設置しております。中央公園は遊具を数多く設置する児童公園のような公園ではなく、広々とした空間を皆さんに利用してもらおう公園と位置付けています。</p>	<p>○都市計画課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市みどり担当 <p>公園の遊具については、さむかわ中央公園を始めとした町内の公園の老朽化が進む中、町民の安全・安心の確保並びに継続しての利用を確保するために計画的な修繕や設置が必要とされております。そのため、早急な増設についての対応は残念ながら出来かねますが、再整備等の際にはご意見を参考に検討してまいります。</p>
<p>既に滑り台はありますが、すぐにいっぱいになってしまうため、もう少し大きな滑り台があって欲しいです。</p>	<p>利用者が多いことは嬉しいことです。平日でも利用者は多く、土日になると小さなテントを張り、長く滞在される方もいらっしゃいます。</p> <p>平坦で見通しも良く、安心してお子さんを遊ばせられるという点で、利用者が多いと思います。別エリアになりますが、自転車に乗るパンプトラック</p>	

	<p>もあります。新しい遊具を置くことについて、利用者が多く使用できない等の声が多くあることから改善策を考えたいと思います。</p>	
<p>【交通の利便性について】 町には大きい道がなく、路線バス等々、いっぱい走れないと思いますが、利便性を上げるような取組はされていますか。</p>	<p>(町民部長) 以前は町内を神奈中バスが走っていましたが、規制の関係でコミュニティバスも走るようになりました。寒川駅北口からは海老名方面への相鉄バスと神奈中バスが走っています。町民の方々の足の不便さを出来るだけ解消していきますので、ご理解いただきたいと思います。</p>	
<p>【若者が集まるまちづくりについて】 人口が減少傾向にあり、高齢化率が増えていくというデータがあります。若い方が入ってこなければ、縮小スパイラルが回り始めるのかと思いますが、若い方が集まる施設や大学誘致等、若者が集まるようなまちづくりが今後あるのかについてお聞かせ願います。</p>	<p>町内の工業協会から、技術系の高等学校が欲しいという要望があります。これを受け、現在、高等学校の整備計画について県に要望をしております。 大学については計画がありません。大学自体、学部再編や学生数の減少があり、大学数そのものが見直されるのではないかと考えております。 神奈川県は県立高校も再編や統合で校数がかなり減っています。そのような状況を見ると、現時点で新規の部分は難しいと考えております。 寒川町を工業の町と認識し、就業の場として、他自治体から非常に羨ましがられています。現在、田端西地区の寒川南インターチェンジ周辺の区画整理事業、住宅や企業事業所の建設</p>	

	<p>が進められています。働く場所が多いことは、転入者や勤務関係で移住する方が増えるプラス要件になります。</p>	
<p>【事業所と町の協働について】</p> <p>協働の取組をととても活発にされている中で、事業所と町が協働するところで言いますと、町外から勤めている人は、町内の飲食店等、いろいろな所を使っています。</p> <p>以前、コロナ禍において地産地消のような、町で働いている人を対象としたクーポンがあったと思います。そのような、町外から来ている人が町にお金を落とす取組を検討していただきたいです。</p> <p>町には梨やトマト、カーネーションのように色々な良いものが沢山あります。それらをどんどんアピールし、安く買える等の取組を協働で進めていただけたらと思います。</p> <p>企業と町がどのような協働の取組をしているか分からないため、具体的に実施している内容や今後こういう風にしたい等をお聞かせいただけたらと思います。</p> <p>一人ひとりが当事者意識を持ち動かなければいけません。協働と2文字にすると簡単かもしれませんが、それを具現化すると難しい言葉だと思います。ぜひ、協力しながらやっていきたいと思っています。</p>	<p>「協働」という言葉は、それぞれが、それぞれの役割を果たしましょうという意味を持っています。それぞれが役割を果たし合い、その地域で上手く連携を取りながらまとまっていく、お互いの責任を示しているのが自治基本条例です。責任と義務、この両方を兼ね備えるのがこの条例の基本です。</p> <p>(町民部長)</p> <p>自治基本条例という、町の最高規範の条例において、町民と町が協働するまちづくりを目指しております。町民の定義は、町内に在住している方だけでなく、在勤、在学、ボランティア団体、そして町内で活動する企業も含まれます。企業と町が何らかの形でまちづくりに貢献するために協働することが大きな課題であり、理想であると考えております。</p> <p>今後もこのような機会を頻繁に設け、率直なご意見をいただき、町長をトップに行政職員は町民の幸せのために頑張っていきたいと思っております。</p>	<p>○町民協働課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働推進担当 <p>地域活動を行うボランティア団体と行政が共に事業を進める、寒川町みんなの協働事業提案制度があります。寒川町の最高規範である自治基本条例の下、協働で取り組める機会をより創出できるよう努めております。</p>

(副町長)

認知度や交通の利便性の向上、今ある資源の有効活用、高齢者と若者の交流の場の設置、コミュニティづくり、ごみ問題やさむかわ中央公園の遊具増設等、いろいろなご意見、ご提言をいただきまして、本当にありがとうございます。

認知度向上について、町では外部へいろいろ発信させていただいております。遠くの方に発信するものでは、SNS やマスメディアを活用した映画やコマーシャル、ドラマの撮影等のフィルムコミッションがあります。エンドロールに町やエキストラの名前が出る、自分の住んでいるところが撮影されているという、何かに関わることや、自分の町の良さを認識してもらうことから始め、いろいろ取り組んでいます。そういった効果もあり、今のところ人口は微増の状況です。ただ、20代の転出がかなり多いです。卒業や就職を機に外へ出てしまいます。ただ、分析すると再度、戻ってきてくれる方もいらっしゃいます。そういった分析も、今後より精緻化し、なぜ増えているのか、なぜ減っているのかをしっかりと捉えた上で、人を増やすことやエリアの創生に取り組んでいきたいと思っています。

企業の皆さんが頑張ってくれている町ですので、上手く賑わいへ活かせるように取り組んでいきたいと思っております。これからもどうぞご協力をよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。